

チェルノブイリ原発事故から30年 原発の在り方を再度捉え返そう！

1986年の今日、旧ソビエト連邦（現ウクライナ）のチェルノブイリ原子力発電所4号炉で爆発事故がありました。広島型原爆の約500倍の放射性物質が拡散され、半径30kmの住民13万5000人が避難、多くの村が廃墟となりました。事故発生後、原発職員と消防士31人が死亡しました。事故の被曝の影響による全世界のガン死者数は、2万～6万人と想定されています。勿論、30年経った今でも、チェルノブイリ原発事故は完全に収束したわけではありません。

福島第一原発事故は、今なお、汚染水の垂れ流しで、収束の目処さえ立っていません。熊本の大地震が本震・余震と続く中、川内原発は稼働したままの状態です。

皆さん、原発事故を再度捉え返し、議論しようではありませんか。これらの事故の教訓は、「人類と核は共存できない」ことが分かるはずです。



事故直後のチェルノブイリ原発



廃墟となった建物（Yahoo!ニュースより）